

小規模企業景気動向調査

[令和元年5月期調査]

～2か月連続の回復から再び足踏み状態となった小規模企業景況～

2019年7月11日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2019年5月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…2か月連続の回復から再び足踏み状態となった小規模企業景況…◇

5月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)、売上額DI、資金繰りDIは先月から一転、業況DIはわずかであるが悪化とに転じ、2か月連続の回復から足踏み状態となった。売上額DIと資金繰りDIは小幅、10連休であった今年のGWにより製造業と建設業では悪影響、小売業とサービス業では好影響としたコメントが目立った。

<製造業> ◇…一部業種に好調が見られるも米中の貿易摩擦を受け、悪化に転じた製造業…◇

製造業は採算DIが小幅、資金繰りDIがわずかに改善したものの、業況DIは先月と比べ不変、売上額DIはわずかに悪化した。特に昨年前半まで好調を呈していた機械器具製造業では、昨年10月期以来7ヶ月連続して業況DIが悪化した。経営指導員からは自動車部品製造業については順調に生産が続いているとの声が聞かれるも、米中の貿易摩擦の影響を受けて業況の悪化を懸念する声や中国製スマートフォンの生産抑制を受けて電子部品・デバイス・電子回路製造業では、発注量が少なくなっているとの声が聞かれた。

<建設業> ◇…公需・民需を問わず工事量が出始めるも、人手不足により悪化際立つ建設業…◇

建設業は、全DIで悪化した。特に売上額DIが大幅、資金繰りDIが小幅に悪化した。経営指導員からは、公需は各地で予算の執行が始まり公共工事が出始めたことや、民需では消費税増税前の駆け込み需要が発生しており、また、季節需要では夏の猛暑に向けて、内装・外装工事が増えてきているという明るい話題もあるが、全般的には熟練技術者を中心に人出不足感が依然として払拭されず、受注に至らない事例や工期の遅れが発生しており、業況は厳しい。

<小売業> ◇…土産物や食料品小売業を中心に売上が伸びるも、業況の改善には至らない小売業…◇

小売業は、採算DIがわずかに改善するも、他3DIは先月から一転悪化となった。悪化幅は、業況DIと資金繰りDIが小幅、売上額DIはほぼ不変であった。10連休を使用した帰省客や旅行客が増え、食料品小売業を中心に売上が伸びてきているものの、全体的には厳しい状況に変化はない。経営指導員からは、今年10月の消費税増税を前に、キャッシュレス・軽減税率対応で高額な設備投資をやむなくされているとの声もあった。

<サービス業> ◇…観光業や洗濯業を中心に売上が伸びるも、その恩恵は各地へは拡がらないサービス業…◇

サービス業は業況DIこそ先月と不変であったが、他3DIは先月から一転悪化、特に資金繰りDIはわずかに悪化した。大型連休の特需消費を取り込めた観光サービス業種や気温上昇により発生した衣替え需要により洗濯業では、売上が伸びたとの声が聞かれた。一方で、今回の大型連休を機に海外に出掛けるケースも珍しくなく、日本国内の温泉街では予想していたほど客足が伸びなかったとの声や大雨の影響を受けた地域では、売上に影響を及ぼしているとのコメントが見られた。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比
売上額	▲ 8.7	▲ 11.2	▲ 2.5	▲ 7.1	▲ 8.9	▲ 1.8	6.5	▲ 1.3	▲ 7.8
採算	▲ 15.7	▲ 15.3	0.4	▲ 16.8	▲ 13.7	3.1	▲ 9.2	▲ 11.0	▲ 1.8
資金繰り	▲ 10.7	▲ 12.7	▲ 2.0	▲ 10.9	▲ 10.1	0.8	▲ 5.7	▲ 10.5	▲ 4.8
業況	▲ 13.3	▲ 14.2	▲ 0.9	▲ 14.4	▲ 14.9	▲ 0.5	▲ 0.4	▲ 1.9	▲ 1.5

業種	小売業			サービス業		
	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比
売上額	▲ 23.1	▲ 23.2	▲ 0.1	▲ 11.2	▲ 11.4	▲ 0.2
採算	▲ 24.3	▲ 23.8	0.5	▲ 12.5	▲ 12.7	▲ 0.2
資金繰り	▲ 17.0	▲ 19.5	▲ 2.5	▲ 9.1	▲ 10.6	▲ 1.5
業況	▲ 25.6	▲ 27.7	▲ 2.1	▲ 12.8	▲ 12.6	0.2

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

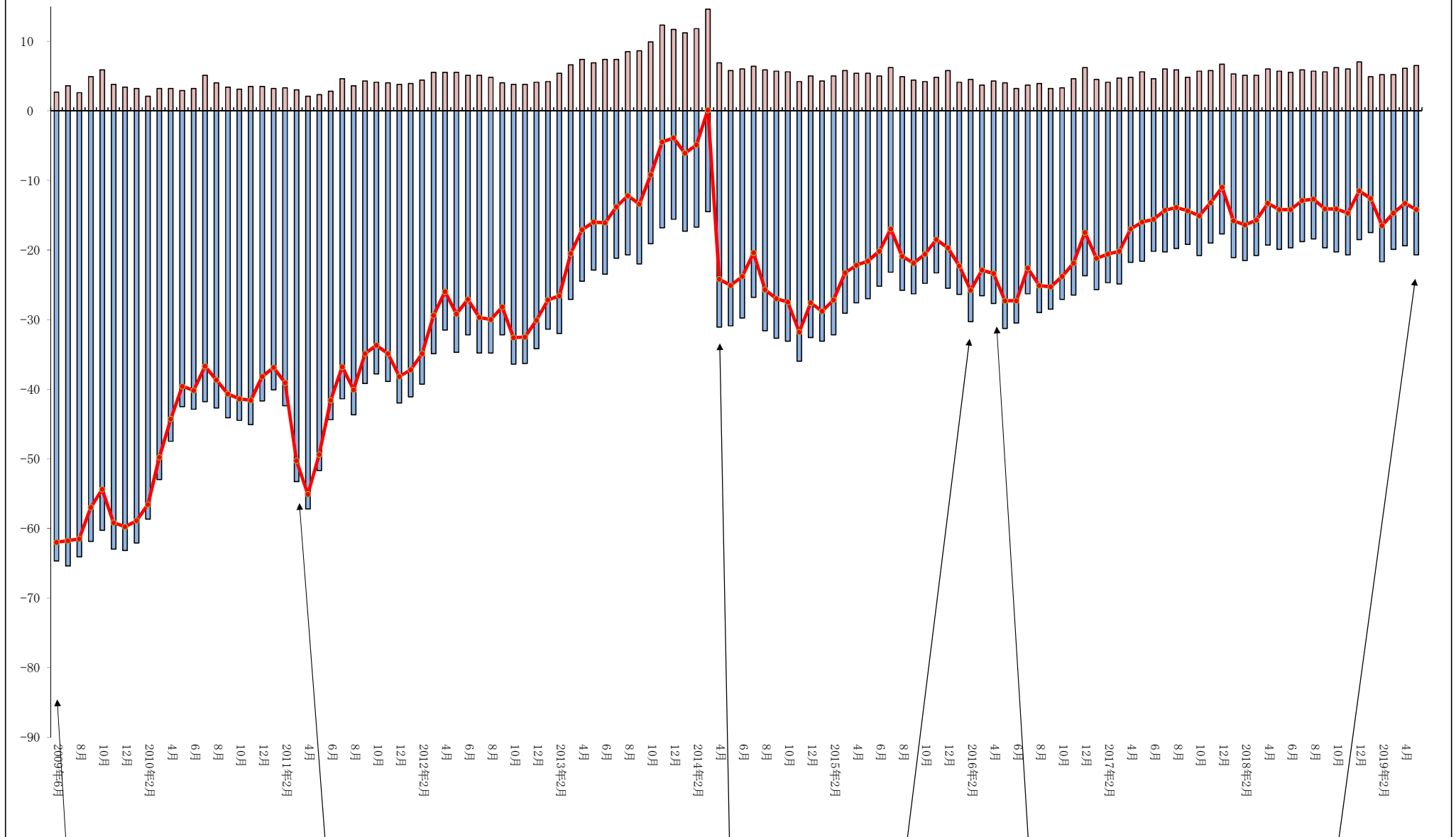
全国商工会連合会 政策推進部 事業環境課

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館19F TEL:03-6268-0085 FAX:03-6268-0997 担当:堀内

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化
■好転
●DI



09年6月
過去10年間最低数値
(-62.0)記録

11年3月
東日本大震災

14年4月
消費税率8%に引上げ

16年2月16日
日銀マイナス金利導入

16年4月
熊本地震

19年/5月
-14.2

小規模企業景気動向調査(5月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

・福岡市以上の都市圏を相手にする業態(製造、建設)では引き続き好調な受注がみられる。これに対し地域を対象とする小売、サービス業は売り上げ減少とまではいかない横ばいの状況が継続しているようだ。

(福岡県宇美町商工会)

・管内傾向として、設備投資(建物・重機等)の計画をする事業所が増えつつある。人口増の地域であり、建築関連に伴う受注が期待できることから、設備投資を決める要因となっている。

(富山県富山市南商工会)

・観光産業が基幹産業であるため、初夏を迎え、観光客の増加と共に経済波及効果が期待できる。地元金融機関の貸出し対応は、県制度融資を中心に良好である。

(熊本県上天草市商工会)

・建設業は消費税増税前で受注件数が増加している。

(岐阜県柳津町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・新時代も財布のひもは、緩まず。消費税増税の動向を見ているのか。

(北海道和寒町商工会)

・受注減少、売上減少の声を多くの方から聞くようになっている。景気が徐々に悪化傾向にある状況であると思われる。

(長野県戸倉上山田商工会)

・自動車関連の製造業は悪い。(中国・米国問題における)金融機関の貸し出し態度はあまり良くない。

(群馬県高崎市榛名商工会)

・ゴールデンウィークまでは、観光関連業種を中心に前年比増で動いていたものの中旬の50年に一度の豪雨により人的被害は無かったものの旅館のキャンセルが相次ぎそれに伴い関連業種(飲食等)も影響を受けた。

(鹿児島県屋久島町商工会)

・改元の長期休暇があったため、月の前半は多くの事業所が休みとなり実働日数が減った為、売上減の事業所が多くみられた。

(広島県広島安佐商工会)

・人口が増加傾向のつくばみらい市ではあるが、個人消費は活発ではなく、今後の不況への不安感からさらに消費マインドが加工する気配がある。消費税アップの影響による景気変化を注視している。

(茨城県つくばみらい市商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

・金属部品製造業は、オリンピック工事への機械需要もあつてか、比較的好転している状況である。

(新潟県朝日商工会)

・車の製造関係は順調に推移しているが、他業種は減少傾向にある。介護用部品の製造も好調。

(静岡県伊豆の国市商工会)

・プラスチック製品の製造業では、多品種小ロット生産への対応が取引先から好評であるため、受注量は増加している。今後は製造ラインの見直し等による生産性向上を目指している。

(岡山県岡山北商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・米中の貿易摩擦の影響大。長期連休のため稼働日数減。そのため従業員の給与が減少の場合あり。次月の消費への影響に懸念。

(山形県尾花沢市商工会)

・食料品関連の製造業は、GWの大型連休により、前年より営業日数の関係で若干の減少。大きな変動なし。

繊維工業関連の製造業は、仕入単価の上昇を価格に転嫁できていない。

機械金属関連の製造業は、取引先の働き方改革の取組によって、納期が短縮化している傾向にある。

(鳥取県中部商工会産業支援センター)

・米中貿易交渉への不安心理により、大手受注先より一部生産の中止があり、業況は悪化傾向である。

(埼玉県志木市商工会)

・機械金属製造業は、昨年が良すぎたこともあるが、今後は、米中貿易摩擦などの影響のため、先行きは不透明である。

(石川県能登鹿北商工会)

・機械部品加工業はアメリカと中国の問題で生産調整が続いているため売上が減少傾向にある

(岩手県大槌商工会)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

・町内の御嵩町を通るトンネルが開通してから、近隣地区の開発が進み、若年層の住宅が増加傾向。それに伴い、公共工事も増えている。

(岐阜県八百津町商工会)

・耐震等設備更新と消費税増税前の駆け込み需要で建設業の受注は高い水準を維持。

(高知県日高村商工会)

・熊本地震の翌年以降の住宅再建ラッシュはやや落ち着いたもののいまだに住宅の新築も堅調のようです。

また、土木関係ではこれまで手が回らなかった熊本地震後の復旧作業がいまだに続いておりこちらも堅調のようです。

(熊本県熊本市城南商工会)

・災害復旧関連の工事を中心に建設需要が堅調に推移しているものの、担い手不足の問題も抱えているため、業界全般に需要過多の状態が続いている。

(岡山県岡山北商工会)

・夏場に向け窓等の内装工事、屋根塗装等の外装工事が増加傾向にある。ただし一部仕入れ単価も上昇。

(静岡県伊豆の国市商工会)

・戸建て及び集合住宅ともTX沿線は好調。今後も核家族化が続くことや沿線開発の継続により比較的好調な状況が続くと見込まれている。

(茨城県つくばみらい市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・電気設備業の一部では、大手下請けによる固定的な仕事があり売り上げ自体はやや増えているものの資金繰り面で苦しい状態

(香川県高松市中央商工会)

・官公需要及び民間需要共に低迷していることに加え、熟練技術者も不足しており、見通しとして大変不安感を持っている。

(長野県泰阜村商工会)

・建設業は、働き方改革に取り組む企業が増えてきている。従業員への有休付与により、社内生産性は低下。

(鳥取県中部商工会産業支援センター)

・公共工事の受注が停滞気味で、売上が前年比でやや落ち込んでいるものの、従業員の確保難は継続した課題。人手不足により外注(下請け)割合が増えているため利益率が減少傾向。外注先の高齢化も懸念材料であり、いくつかの事業所は受注の制限を検討中。大型連休の影響で売上は大きく下振れする見込み。同業者情報でも全体的に動きは鈍いと聞いている。

(秋田県由利本荘市商工会)

・鉄工関連建設業では、ナットが不足し、工事が進まず、複数の現場を掛け持ちすることができず、収益が上げられないとの声があった。

(新潟県安田商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

・食品関連の小売業は、10連休で家族が帰省し長期間滞在するため、食材を購入する回数が増えた状況になっている。

(岐阜県高山西商工会)

・ゴールデンウィークにより一時的に売上は増加。中でも肉屋などの食材を扱う店舗が目立つ。理由としては10連休ということもあり、混雑を避け自宅で家族や親戚と食事をする機会が多かったためと考えられる。

(岐阜県八百津町商工会)

・基幹産業の観光サービス業が好転すると思われるので、小売業の景気も良好と思われる。

(熊本県上天草市商工会)

・大型連休を向かって、特需消費によりスーパーやコンビニなどでは食料品を中心とした売上増加が前月同様にみられた。百貨店も含めて前年比を上回ったところが多かった。例年になく暑さが見られたことにより、飲料品では特に大きな売上増加を見た。小売業では総じて小幅改善により売上増加となった。

(兵庫県川西市商工会)

・事業者等の高齢化による廃業も増えつつあるものの、積極的に事業承継に取り組む事業者も見られ、また、少しづつではあるが、地域によっては創業相談・補助金を活用した経営改善相談なども増加してきている。

(鹿児島県南九州市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・地域向け小売業は地域の人口比に比例しているように感じる。つまり都市圏の売上は上昇傾向だが、郊外となるとそうした影響は少ないように思われる。

(福岡県宇美町商工会)

・地元の零細商店(酒屋、魚屋、金物屋、菓子店、菓小売店など)は、チェーン店の影響により売上の減少傾向に歯止めがかからない。仕入も問屋からの配達ではなく、自店から取りに行くケースが増えつつある。

(富山県富山市南商工会)

・飲食料品関連の小売業は、軽減税率対策のため、高額な設備投資をやむなくされている

(群馬県中之条町商工会)

・【食料品】同年同月比102%、青果は昨年同月比価格は上がっていないため、青果の販売量が増加していると思われる。

【耐久消費財】消費増税を見据えたものかわからないが中古車の販売が昨年比増加している。例年、夏場は車が売れないので、消費増税が売上増の要因としてみている。

(山梨県都留市商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

・鳥取砂丘周辺のサービス業は、5月の大型連休に県外観光客が多かったため、売上高は好調であった。
(鳥取県鳥取市東商工会)

・宿泊関連のサービス業は、GW10連休の影響で、収益が増えた
(群馬県中之条町商工会)

・洗濯業関連では、気温の上昇により冬物衣料の受注が増加。最近の傾向として、布団や毛布など大型製品は減少しているが、羽毛製品衣類の持ち込みが特に増えており、顧客の維持に繋がっている。
(栃木県大平町商工会)

・大型連休の特需消費により、飲食業では、売上の増加が市内の多くでみられ、前月に続き、前年同月比増加傾向となった。美容業やクリーニング業など消費者に直結するようなサービス業においても、売上増加がみられるなど好調な月度となった。
(兵庫県川西市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・温泉街の飲食業は、ゴールデンウィーク期間中の売上予想していたより、伸びなかった様で、期待外れに終わった状況になっている。
(長野県戸倉上山田商工会)

・産廃関連のサービス業は、有価市場に流通していたものが産廃市場に流れ込み産廃の飽和状態が続いている。最終処分地、中間処理企業からの厳しい料金上昇が相次いでいる。
(兵庫県丹波市商工会)

・豪雨が影響した旅館のキャンセルが5月いっぱいあり売上に大きな影響を及ぼしているようである。今後観光シーズンであるがこの影響が続けば資金繰りの悪化が懸念される。
(鹿児島県屋久島町商工会)

・旅館…宿泊客は前年同期と比較し横ばいに推移している。貸席等の地域需要に関しては需要はあるものの原材料費の上昇により採算は悪い。

洗濯…自宅でも洗濯ができる衣類が多くなっており衣替えシーズンとは言えそれほど受注は多くない。

理・美容…例年に比べると暑さを感じる気候が続いたことによる飛び込み客が増えたが、来店客構成のほとんどが顧客のため、6月以降の来店客減が心配される。じり貧状態が続いているため、地域内の客だけでなく地域外からも客を呼び込む仕掛けが必要である。

大型連休期間中はお店を休んでいたため、売上は減少。

(秋田県由利本荘市商工会)